

H27年度 匠瑛高校 受験体験アンケート 集計結果

平成28年3月11日
進路指導部

①出願まで [(センター試験を含めて) 受験科目の決定 (時期、理由等) 受験校の決定 (時期、理由等)、願書の取り寄せ方、出願方法 (ウェブ、郵送)、ホテルの予約等]

受験科目の決定

- ・1年生の冬休み。
- ・2年生の冬休みが終わった頃。9月以降の模試の得点で安定してとれる教科を選択。
- ・受験校に応じて決めた。最終的に受験科目を決めたのは夏休み直前。
- ・早めに決めた方がいいが、重要な選択なので慎重に決めるべき。科目を絞ると、受験できる大学が限られてしまう。
- ・文系の人も数学を受けた方がいい。
- ・3年生の選択科目を決めたとき。選択科目と受験科目を同じにすると、効率が良い。
- ・国公立大学の理系志望で、理科は基礎でも良かったが、センター利用を考えて、発展2つにした。
- ・理科は4単位×2と2単位+4単位では、大学が変わり、負担が違う。
- ・文系で経済学部を志望したが、3年の授業で倫理を選択し、私大の受験では使えなかった。
- ・受験科目は減らさない方がいい。センターで思いかけず高得点がとれることもあり、センター利用で使える場合もある。
- ・センターで高得点科目を採用してくれる大学もあるので、科目はたくさん受けて損はない。
- ・同じ学科でも科目数が多い方が倍率が低いので、多少苦手な科目もあったが、科目が多い方を選択した。
- ・科目はどれが易化、難化するかわからないので、3教科に絞らないで、受けられる教科全て受験した。自己採点で得意科目と苦手科目の点数が逆転した。
- ・苦手教科でも模試よりも点数がとれた。

受験校の決定

- ・第一志望の大学を2年生の夏頃に決めた。
- ・第一志望の大学を早めに決めると、モチベーションが上がる。
- ・成績が上がると、狙える大学の範囲が広がり、もっと勉強しようという意欲がわいた。
- ・将来就きたい職業があり、それについて学ぶことができる大学を選んだ。就職率の高い大学。
- ・自分でやりたい事と就きたい職業に合ったところを見つけ、親としっかり話し合っただけで決めた。
- ・オープンキャンパスに行って決めた。
- ・自分が欲しい資格の合格率といい先生方や勉学に熱心な学生が多い環境を選んだ。
- ・外国語が好きだったので、外国語や国際関係が学べる大学で、卒業後のことも考え、国公立に決めた。私大も自分が行きたいと思えるようなところを選んだ。
- ・私の場合、明確な夢を持つのが遅く、志望大学を決めるのが遅かった。本当に早く真剣に考えることをすすめる。
- ・3年生の夏の3者面談で、受験する大学を決めた。
- ・地方受験を実施している大学を受験した。

願書の取り寄せ方

- ・オープンキャンパスや説明会でもらった。
- ・私大の中には、オープンキャンパスに参加すると、大学から願書が送られてくるものもあった。
- ・大学のホームページから取り寄せた。
- ・マナビジョン、テレメールを利用した。

- ・ウェブ出願でも、紙の入試要項は試験当日にあると便利なので、取り寄せた方がよい。
- ・センター利用の受験校をぎりぎりで決めたので、慌てた。早く取り寄せたほうが慌てない。

出願方法

- ・封筒に調査書を入れ忘れてしまった。
- ・必着か消印有効か確認する。郵便局の方が「いつまでに届けばいいのか」と聞いてくれた。
- ・願書は訂正印で訂正可になっていても、銀行が念のためを考えて、受け取ってくれない場合がある。
- ・ウェブ出願しか受け付けない大学がある。パソコンとプリンターが必要。
- ・ウェブ出願は手間がかかった。パソコンで必要事項を入力→プリンターでプリントアウト→支払い→願書を郵送。
- ・ウェブ出願の支払いはコンビニででき、完了のメールもすぐに届いた。
- ・写真をウェブ上にアップしなければならないものもあり、写真屋でCDをもらった。
- ・手帳に日程、出願期間を正確に記入し、余裕を持って準備をしてください。
- ・願書の記入を冬休み中に済ませた。
- ・下書きをしてからボールペンで書かないと間違える。
- ・センター前の慌ただしい時期に、私大の出願期間の締め切りが重なるので、願書を書いておいて、支払いを済ませれば出せるという状態にしておくが良い。
- ・自分の受けた大学では、早めに出願しておく、面接では長く待たずに済むようだった。

ホテルの予約等

- ・受験の2ヶ月前に予約した。1ヶ月前前に予約しようとしたが、受験会場近くのホテルは満室だった。
- ・10月に予約し、具体的に決まってからキャンセルした。キャンセル料も確認した方がよい。
- ・受験会場から一番近いホテルをインターネットで調べて予約した。

②センター試験当日について [会場まで (到着時刻、交通手段、電車の時刻等)、会場の様子 (〇〇棟〇〇教室、トイレ、控室からの移動、休み時間の利用の仕方等)、試験の様子等 (受験番号のマーク、温度調節)]

センター会場まで

- ・電車で行った。開場の30分前には到着していた。
- ・求名駅から城西国際大学まで、歩いて5分くらい。
- ・社会1科目受験で、10:15までに入室完了でしたが、9:55まで入れなかった。
- ・帰りの電車はかなり混雑した。スイカを使わない人が多く、駅のホームが混んだ。
- ・試験会場で建物の案内の紙をもらえた。

センター会場の様子

- ・同じ科目を取っていても、席と部屋がばらばらだった。
- ・教室内は温度が高く、温度調節できる服装が良い。制服は温度調節がしづらく、私服の方が良い。
- ・教室は乾燥していたので、マスクは用意しておいた方がよい。
- ・暖房が暑くて、頭痛がひどくなり、前の人との距離が近く、具合が悪くなりました。
- ・寒かった。膝掛けが必要だった。
- ・腰も痛くなってきたので、膝掛けを敷いた。汗を拭くのに、ハンカチがあると良い。
- ・女子トイレは個室数が少なかった。早めに行った方がよい。空いているトイレもあった。
- ・休み時間ごとにトイレに行った。
- ・トイレがわからなかったので、外の係の人に聞いた。

- ・トイレは2カ所以上把握しておくといよい。
- ・外に出てリフレッシュした。
- ・休み時間は長い。音楽を聴いて、友達と話した。
- ・お菓子を食べていた。昼食など一気に食べると眠くなるので注意。
- ・休み時間は、模試でできなかったところをまとめたノートを見直した。知識の確認程度。
- ・控え室は自由席だった。
- ・控え室から10分程前に退出した。
- ・「部屋の中では静かに」と言われるので、話をしたい人は部屋から出た方がいい。
- ・着席完了時刻までは試験会場の自分の席でも参考書や携帯を使うことはできた。
- ・どの教室にも時計はあった。
- ・バッグを教室に持っていた方がいい。小さい手提げなど。
- ・試験会場には大きなバッグを持ち込めた。

センター試験の様子等

- ・受験番号の記入は監督の指示で試験前に記入する。試験後に再度確認の時間があり、記入ミスに気がついた場合は監督の付き添いの下で直す。
- ・試験監督の人がゆっくり説明してくれたので、特に記入で迷うことはなかった。
- ・教室内はとても緊張感があった。
- ・浪人生や他校生の風格に押された。
- ・同じクラスの人がいなくて焦ったが、知っている人が1人はいる。
- ・リスニングのイヤフォンが模試と違って、硬かった。
- ・校外模試と同じ様子。模試感覚で受けられた。
- ・マークは1つずつ確認した。
- ・マークは塗り残しより、消し残しを気をつけた。
- ・後ろの人が解答欄を間違い、大問全てが間違っていたらしい。
- ・試験開始前に受験票の写真にシールをつけた。

③その他、全般 [受験日程 (特に私大)、交通手段、宿泊、入学手続き、受験にかかった費用、困ったこと、やってあげばよかったこと、やっておいて良かったこと、後輩達へアドバイス等]

受験日程

- ・私大の試験日程はせいぜい2連続までだと感じた。3日以上になると疲れて試験に集中できない。
- ・試験が何日か続けて行われる場合は、2日間受験した方がいい。1日目失敗しても、2日目で合格した。
- ・GMARCHは同じ日に試験があることが多いので、早めに調べたほうがいい。
- ・私立は各大学によって形式や出題問題に差があるので、大学の特徴を知る必要がある。
- ・前日に受けた私大の試験内容が次の日の別の私大の試験に出たので、採点をしておいた方がいい。
- ・スポーツ系の学科は人も多く、倍率も高いので、偏差値があまり高くなくてもなめない方がいい。
- ・滑り止めで受けた大学に落ちてしまい、落ち込んでいたが、あきらめずに受け続けたことで、合格できた。
- ・滑り止めの大学をもっと多めに受けておくべきだった。ただし、自分が納得して行くことの出来る大学を受験するべき。
- ・本命の大学を受験する前に、練習として他の大学を受けておいた方がいい。
- ・補欠になると3月末まで合否が分からなくなるので、補欠のときは次を考えるといい。
- ・国公立組は、最低一校は私大を合格しておいた方が、精神的に安定する。センター利用も使って、安心できる日程にする。
- ・国公立組は卒業式まで進路が決まっていない状態 (私大が全部落ちる) で学校へ行くので、精神的に辛い。最後まで第一志望をあきらめないで。

交通手段

- ・試験時間が遅い場合でも通勤ラッシュを避けるため、早い電車で行った方が良い。
- ・都内は、地下鉄の方が融通が利いた。遅延や、乗り遅れてしまうことがあるので、早めに行く。
- ・早めに到着して、大学周辺で時間を潰すことを薦める。
- ・前日に一度バスで会場までの道のりを確認した。
- ・試験会場が千葉会場で受験できる大学も多いので、前もって調べておけば、宿泊費を節約できる。
- ・前日にジェットスターで高松まで行き、バスを使って高知まで行き、高知県立大学を受験した。

宿泊等

- ・大学が薦めたホテルに泊まった。
- ・受験の数日前から必ず早く寝る習慣をつけておかないと、前日だけ早く寝ようとしても眠れない。
- ・前日は食事にも気を遣う。生ものは食べない。乳製品も取らない方がいい。
- ・寒いので、温かい飲み物を持って行くと良い。
- ・受験は私服にした方が調節しやすい。制服は意外と調節がきかない。
- ・国公立の個別試験はあまり他人を敵視せず、協力すると平常心を保てる。
- ・長期間ホテルに泊まって連続で受ける人は制服で行くと荷物が少ない。

入学手続き

- ・私大の入学手続きで入学金の振り込みだけでなく、ネットで個人情報の入力が必要だった。
- ・お金だけ振り込んだだけで、入学手続きの書類を送るのを忘れて、合格が無効になりそうになった。
- ・入学手続きは時間が決まっている場合もあれば、銀行が指定されているところもある。
- ・お金がかかるので親と早くから相談したほうが良い。
- ・3校を、全学部・個別方式等で複数の学部を受験したので、合わせて30万円。
- ・11校受験したので、受験料のみで40万円。
- ・受験校はなるべく入学一次金を払わなくていいようにしたが、一応納めておいた。残りの私大には落ちてしまったので、結局無駄なお金にならずに済んだ。そのおかげで、国公立の入試は落ち着いて受験できた。
- ・塾には半年も通わなかったので70万円ほどで済んだが、自力での勉強を早く始めたほうが良い。

困ったこと

- ・受験番号と座席番号を間違えて、提出してしまった。試験官に話したところ、直させてくれた。
- ・試験場に持って行く受験番号が書かれたはがきに写真を貼るのを忘れて焦った。証明写真は、筆箱などに入れておくと、出先で気がついたときに焦らなくて済む。
- ・センター直前は、自分が思うよりも体が追い込まれていて、簡単に風邪にかかりやすい。
- ・私大の受験のスタートが早かったため、第1志望の私大が2月の後半で、疲れてしまった。

やっておけば良かったこと・やっておいてよかったこと

- ・自分から積極的に進路に取り組む。
- ・本当にその大学に行きたいのならば、多くの情報を得る。
- ・自分が大学にこだわるのか、学部にこだわるのかを明確にする。
- ・自分の行きたいところをはっきり決めておく。
- ・1・2年のうちから苦手教科をよく勉強しておくべきだった。
- ・早めから苦手な内容を整理して勉強する。
- ・夏休みにもっとやると、かなり楽になったと思う。

- ・英単語テストはその場しのぎではなくて、完璧に覚えれば良かった。英単語をもっと早くから覚えておけば良かった。
- ・早い時期から時間のかかる英単語などの暗記物をしっかりやる。
- ・英検2級を取ったことは良かった。
- ・私立のみ受験する人は、遅くともセンター試験までには私大の過去問を完璧にしておいた方がよい。
- ・赤本は3年の夏休み後から、少しずつ解いた方が、入試直前の焦りが減る。12月頃からは遅かった。
- ・模試はあくまでも模試なので、実際に自分が受ける大学の問題とは異なるので、赤本を何度も繰り返すと、気持ち的にも自信が出てきた。
- ・数学は早くやるべき。
- ・とりあえず、基礎を固めれば何とかなる。
- ・マーク問題をやることで新しい知識が入り、特に社会では有効的だった。
- ・試験の手応えが悪くても、結果が出るまでは分からないので、前向きに勉強を続ける。
- ・授業のペースに合わせながらやると間に合わないの、自分でペースを作る。
- ・国公立の個別試験はしっかり対策しておいた。
- ・中堅国公立は、センター試験の割合が高いので、センター試験を頑張っておきたい。

後輩達へ

- ・試験までに勉強が全く終わらなかった。部活を引退してからも間に合うと思っている人は、普段から勉強をしている人か、していなくても大丈夫だと甘く考えている人だと思う。引退後の約半年は思っている以上に短いので、1分1秒でも早く始めた方がいい。
- ・1・2年生の2年間やってきたことは大きな差で、3年からの3ヶ月や部活を終えてからの5ヶ月で差は埋まらない。
- ・受験勉強を始めるのに「早い」ことはない。3年生になってから始めるのは遅いと思った方がいい。何ヶ月かの勉強で希望する大学に受かるほど受験は甘くないので、悔いの残らないように自分が今何をすべきなのか考えて実行に移すべき。
- ・日々の授業に真剣になると、受験勉強の負担が減る。
- ・部活で忙しい人も最低限学校の課題をやるべき。学校の課題はかなり考えられているので、ちゃんとやると力がつく。
- ・現役生が受験生なのはたった1年。後悔しないように頑張る。

センター後

- ・センター試験後、すぐに私大に向けて切り替えるのが大変だった。
- ・センター試験の失敗を引きずって、数日間勉強する気にならなかった。
- ・センター試験後は気が抜けてしまったため、勉強する人が多い図書館、塾、学校などで自習すべきだった。
- ・センター受験後も学校で勉強でき、先生に質問することもできるので、しつこいくらいに質問した。センター後も習慣を変えずに勉強することが大切だと思う。
- ・センター利用で私立を受験する場合は、なるべく科目数の多い方式で受験した方が受かりやすい。国公立を受ける人は、国公立受験者のための方式があり、倍率も低く、入金日も遅くて良い。
- ・一般試験は不合格で、センター利用で合格したので、あらゆる方式での受験を希望すべき。
- ・国公立は私大の一般受験が大変なので、センター利用で私大を押さえられると良い。
- ・センター試験後に、公立大学の受験を決めた。私大希望だったので、急いで調べて二次試験対策(面接)をしてもらった。

面接・小論文

- ・面接と小論文はなめない方がいい。情報はできるだけ多くあったほうが勝てる。
- ・面接はいろいろな先生に頼んだほうがいい。
- ・面接は、十分に練習し、慣れておくと、本番でも自信を持って臨める。
- ・受験で面接があることを見落としていて、前日のみの練習になってしまったことを後悔している。
- ・オープンキャンパスに行くと、面接の時に答えられる。